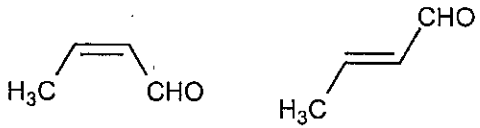


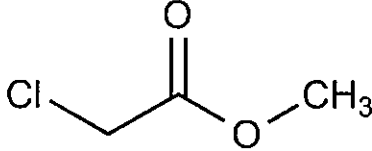
毒物に指定するもの

名称	構造式	区分	性状	毒性	主な用途
クロトンアルデヒド	 <p style="text-align: center;"> <math>C_4H_6O</math> / <math>(CH_3CH=CHCHO)</math>                      分子量 70.1                      CAS No. 4170-30-3                 </p>	原体及びこれを含有する製剤	外観:特有の刺激臭のある無色の液体  沸点:104℃  融点: -76℃  相対蒸気密度:2.41 (空気=1)  相対比重:0.85(水=1)  蒸気圧:3.2 kPa(25℃)  溶解性:水;18.1g/100mL (20℃) エタノール、エーテル、アセトンに可溶  引火点:8℃ (高引火性液体)  安定性・反応性: 酸、塩基と接触すると重合化;酸化剤と反応すると危険	原体: 急性経口毒性 $LD_{50}$ (mg/kg) ラット >50~≤300  急性経皮毒性 $LD_{50}$ (mg/kg) ウサギ 128  急性吸入毒性 $LC_{50}$ (mg/m <sup>3</sup> (0.5hr), mg/L (4hr), ppm (0.5hr) (4hr)) ラット 4000mg/m <sup>3</sup> (0.5hr), 1400ppm (0.5hr) (⇒ 486, 495ppm (4hr)) (ガス) ラット 88ppm (4hr) (=0.26mg/L (4hr) (ガス))  皮膚腐食性 ウサギ +  眼刺激性 ウサギ +	ブタノール、クロトン酸、ソルビン酸等の各種化学薬品及び医薬品の製造原料。樹脂及びポリビニルアセタールの製造原料。ポリ塩化ビニルの溶媒。ゴム酸化防止剤。

※ 急性毒性:単回投与(暴露)によって短期間に引き起こされる毒性作用を意味し、経口、経皮、吸入等の投与経路がある。

※  $LD_{50}$  (Lethal Dose 50)又は  $LC_{50}$  (Lethal Concentration 50):50%致死量(濃度)を表し、投与(暴露)された動物のうち50%が死亡する投与量(濃度)を表す。通常、経口、経皮については動物の体重当たりの投与量で、吸入の場合は、一定空間中の当該物質の濃度で表される。

毒物に指定するもの

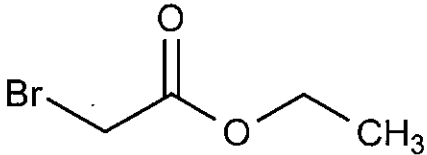
名称	構造式	区分	性状	毒性	主な用途
クロロ酢酸メチル	 <p> <math>C_3H_5ClO_2</math>                      分子量 108.5                      CAS No. 96-34-4                 </p>	原体及びこれを含む製剤	外観：特徴的な臭気のある無色の液体 沸点：130℃ 融点：-32℃ 相対蒸気密度：3.7 (空気=1) 相対比重：1.2(水=1) 蒸気圧：650 Pa(20℃) 溶解性：水；4.6g/100mL (25℃) アルコール、エーテルに可溶 引火点：57℃(引火性液体) 安定性・反応性： 還元剤、酸化剤と反応	原体： 急性経口毒性 $LD_{50}$ (mg/kg) ラット >50～≤300 急性経皮毒性 $LD_{50}$ (mg/kg) ウサギ 318 急性吸入毒性 $LC_{50}$ (ppm(4hr)) ラット 210～315(ガス) 皮膚刺激性 ウサギ 強度の腐食性 眼刺激性 ウサギ 重篤な損傷	医薬品(ビタミンB1・B6)、香料、農薬、界面活性剤等の溶剤等。

※ 急性毒性：単回投与(暴露)によって短期間に引き起こされる毒性作用を意味し、経口、経皮、吸入等の投与経路がある。

※  $LD_{50}$  (Lethal Dose 50)又は $LC_{50}$  (Lethal Concentration 50)：50%致死量(濃度)を表し、投与(暴露)された動物のうち50%が死亡する投与量(濃度)を表す。通常、経口、経皮については動物の体重当たりの投与量で、吸入の場合は、一定空間中の当該物質の濃度で表される。



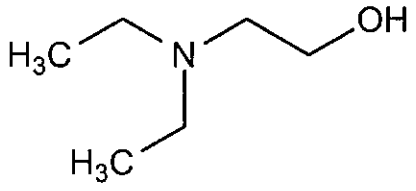
毒物に指定するもの

名称	構造式	区分	性状	毒性	主な用途
ブロモ酢酸エチル	 <p>C<sub>4</sub>H<sub>7</sub>BrO<sub>2</sub> 分子量 167.0 CAS No. 105-36-2</p>	原体及びこれを含む製剤	<p>外観: 無刺激臭を伴う無色の液体</p> <p>沸点: 159°C (他のデータ 168.5°C)</p> <p>融点: -38°C</p> <p>相対蒸気密度: 5.8 (空気=1)</p> <p>相対比重: 1.5(水=1)</p> <p>蒸気圧: 449 Pa (25°C)</p> <p>溶解性: 水に不溶(分解する。) オクタノール/水 分配係数 (log P): 1.12(他のデータ: 0.21) エタノール、エチルエーテルに混和、ベンゼン、アセトンに可溶</p> <p>引火点: 48°C(引火性液体)</p> <p>安定性・反応性: 水、酸、塩基と反応</p>	<p>原体: 急性経口毒性 LD<sub>50</sub>(mg/kg) ラット &gt; 50 ~ ≤ 300</p> <p>急性経皮毒性 データなし</p> <p>急性吸入毒性 致死濃度 (ppm (4hr)) <u>68 (ガス)</u></p> <p>皮膚刺激性 ヒト 軽度の刺激性</p> <p>眼刺激性 ヒト 重篤な損傷</p>	医薬品及び農薬の製造中間体。有機合成原料。

※ 急性毒性: 単回投与(暴露)によって短期間に引き起こされる毒性作用を意味し、経口、経皮、吸入等の投与経路がある。

※ LD<sub>50</sub> (Lethal Dose 50)又は LC<sub>50</sub> (Lethal Concentration 50): 50%致死量(濃度)を表し、投与(暴露)された動物のうち50%が死亡する投与量(濃度)を表す。通常、経口、経皮については動物の体重当たりの投与量で、吸入の場合は、一定空間中の当該物質の濃度で表される。

劇物に指定するもの(濃度下限値設定により劇物から除外するものを含む。)

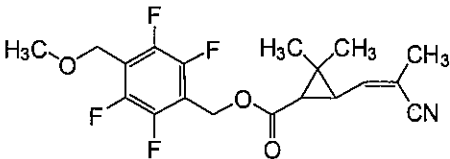
名称	構造式	区分	性状	毒性	主な用途
2-(ジエチルアミノ)エタノール	 <p data-bbox="515 614 884 726"> <math>C_6H_{15}NO / (C_2H_5)_2NC_2H_4OH</math>                      分子量 117.2                      CAS No. 100-37-8                 </p>	原体及びこれを含有する製剤(0.7%以下を含有するものを除く。)	外観:無色透明の吸湿性液体 沸点:163℃ 融点: -70℃ 密度:0.88g/cm <sup>3</sup> (25℃) 相対蒸気密度:4.04 (空気=1) 相対比重:1.02(水=1) 蒸気圧:0.19 kPa(20℃) (他のデータ:0.25 kPa(20℃)) 溶解度: 水に混和(1000g/L)、オクタノール/水 分配係数(log P):0.31(他のデータ:0.21) エタノール、エーテル、アセトン、ベンゼンに可溶 引火点:52℃(引火性液体) 安定性・反応性: 室温で安定。吸湿性。強酸、強酸化剤と反応	原体: 急性経口毒性 LD <sub>50</sub> (mg/kg) ラット 1300 急性経皮毒性 LD <sub>50</sub> (mg/kg) ウサギ 1,100 モルモット 885(4日間適用。4時間では1000超と推察) 急性吸入毒性 LCL <sub>0</sub> (mg/L(4hr)) ラット 4.5(蒸気) 皮膚刺激性 ウサギ + 眼刺激性 ウサギ 強度の刺激性~腐植性 0.7%製剤: 急性経口毒性 LD <sub>50</sub> (mg/kg) ラット>2,000 急性経皮毒性 LD <sub>50</sub> (mg/kg) ラット>10,000 急性吸入毒性 LC <sub>50</sub> (mg/L(4hr)) ラット>4.43(ミスト)* *:理由 ・経験則から最初は空気供給量を低めに設定し、徐々に上げて濃度の適正条件を探ったが、	医薬品(抗ヒスタミン剤、抗マラリア剤、局所麻酔剤、鎮痛剤等)の製造原料。印刷インキ及びアゾ染料の緩衝揮発剤。燃料油のスラッジ防止剤及び分散剤。ワックス類の乳化剤。防錆剤。エポキシ樹脂の低温重合促進剤。ウレタンフォームの発砲触媒。

				<p>12.0L/min から 13.0L/min まで上げたところで濃度が平衡若しくは減少傾向となり、相関性が不良という結果になった。従って、13.0L/min での濃度 5.22mg/L が技術的な発生限界濃度であるとして、当該数値を目標に本試験を実施し、曝露濃度が 4.43mg/L という結果になった。</p> <p>一方、経済協力開発機構(OECD)の化学物質の試験に関するガイドライン/急性吸入毒性試験(403)中に、ミストの場合 5mg/L 又は到達可能な最大濃度が上限濃度である旨記載されており、本試験の曝露濃度設定は妥当であると判断した。</p> <p>皮膚刺激性 ウサギ -</p> <p>眼刺激性 ウサギ 軽度の刺激性</p>	
--	--	--	--	--	--

※ 急性毒性: 単回投与(曝露)によって短期間に引き起こされる毒性作用を意味し、経口、経皮、吸入等の投与経路がある。

※ LD<sub>50</sub> (Lethal Dose 50) 又は LC<sub>50</sub> (Lethal Concentration 50): 50%致死量(濃度)を表し、投与(曝露)された動物のうち50%が死亡する投与量(濃度)を表す。通常、経口、経皮については動物の体重当たりの投与量で、吸入の場合は、一定空間中の当該物質の濃度で表される。

劇物から除外するもの

名称	構造式	区分	性状	毒性	主な用途
<p>2, 3, 5, 6-テトラフルオロ-4-(メキシメチル)ベンジル=(Z)-(1R, 3R)-3-(2-シアノプロパ-1-エニル)-2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート、2, 3, 5, 6-テトラフルオロ-4-(メキシメチル)ベンジル=(E)-(1R, 3R)-3-(2-シアノプロパ-1-エニル)-2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート、2, 3, 5, 6-テトラフルオロ-4-(メキシメチル)ベンジル=(EZ)-(1RS, 3SR)-3-(2-シアノプロパ-1-エニル)-2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート及び2, 3, 5, 6-テトラフルオロ-4-(メキシメチル)ベンジル=(E)-(1S, 3S)-3-(2-シアノプロパ-1-エニル)-2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラートの混合物(2, 3, 5, 6-テトラフルオロ-4-(メキシメチル)ベンジル=(Z)-(1R, 3R)-3-(2-シアノプロパ-1-エニル)-2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート80.</p>	 <p>C<sub>19</sub>H<sub>19</sub>F<sub>4</sub>NO<sub>3</sub>            分子量 385.35            CAS No. 609346-29-4</p>	<p>原体並びにこれを含む製剤</p>	<p>外観:白色の粉末又は小塊            融点:71.2℃            蒸気圧:0.055 mPa(25℃)            溶解性:水;2.11 mg/L(20℃)            オクタノール/水 分配係数(log P):3.369            安定性・反応性:            通常取り扱いにおいて安定</p>	<p>原体:            急性経口毒性            LD<sub>50</sub>(mg/kg)  <u>ラット(♂) &gt; 2,000</u>  <u>ラット(♀) &gt; 300 ~ &lt; 2,000</u>            急性経皮毒性            LD<sub>50</sub>(mg/kg)  <u>ラット(♂, ♀) &gt; 2,000</u>            急性吸入毒性            LC<sub>50</sub>(mg/kg)  <u>ラット(♂, ♀) &gt; 2</u>            皮膚腐食性  <u>ウサギ -</u>            眼刺激性  <u>ウサギ 極く軽度の刺激性</u></p>	<p>殺虫剤原体</p>

<p>9%以上を含有し、2, 3, 5, 6-テトラフルオロ-4-(メキシメチル)ベンジル=(E)-(1R, 3R)-3-(2-シアノプロパー1-エニル)-2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート10%以下を含有し、2, 3, 5, 6-テトラフルオロ-4-(メキシメチル)ベンジル=(Z)-(1S, 3S)-3-(2-シアノプロパー1-エニル)-2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート2%以下を含有し、2, 3, 5, 6-テトラフルオロ-4-(メキシメチル)ベンジル=(EZ)-(1R, 3SR)-3-(2-シアノプロパー1-エニル)-2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート1%以下を含有し、かつ、2, 3, 5, 6-テトラフルオロ-4-(メキシメチル)ベンジル=(E)-(1S, 3S)-3-(2-シアノプロパー1-エニル)-2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート0.2%以下を含有するものに限る。)</p>					
---	--	--	--	--	--

※ 急性毒性:単回投与(暴露)によって短期間に引き起こされる毒性作用を意味し、経口、経皮、吸入等の投与経路がある。

※ LD<sub>50</sub>(Lethal Dose 50)又はLC<sub>50</sub>(Lethal Concentration 50):50%致死量(濃度)を表し、投与(暴露)された動物のうち50%が死亡する投与量(濃度)を表す。通常、経口、経皮については動物の体重当たりの投与量で、吸入の場合は、一定空間中の当該物質の濃度で表される。